



感染症予防に石灰乳塗布のすすめ

農場内で、感染症を発生・まん延させないため、衛生的な飼養環境を整えることは重要です。また、夏場に暑熱ストレスを受けた牛は、免疫力が低下し感染リスクが高まります。対策として、牛舎の石灰乳塗布を検討してみてもはいかがでしょうか。

石灰乳塗布の手順と期待される効果

(1) 石灰乳塗布の手順

石灰乳塗布は、粉状の石灰(生石灰、ドロマイト石灰など)を水に溶いた「石灰乳」を牛舎の床や壁などに塗布する作業です。

大まかな作業の方法は下表(表1)のとおりです。

表1 石灰乳塗布手順

項目	内容
1. 牛舎内の清掃	前日までに牛舎内の用具などを撤去し、清掃する。ふん尿等こびりつきは念入りに除去し、洗浄する。
2. 準備	窓ガラス、蛍光管をはずし、換気扇や電気系・飼槽等、塗布しない部分をビニール等で覆う。
3. 石灰塗布	石灰を水で溶き、ミキサー等で十分混ぜ、石灰乳を作り、噴霧器で壁・天井・床に塗布する。
4. 乾燥	十分乾燥させる。
5. 噴霧器清掃	石灰乳の目詰まりによる凝固を防ぐため終了後は水を通して十分清掃する。

まず、事前の準備として、前日までに牛舎内に置いてある物の撤去・清掃・洗浄を行います。同時に、コンセント等の電源部分の保護も行います。労力の大半は、これらの準備作業になります。畜舎内では床面に細菌等が最も多く存在します。床は壁の10倍、床の隅は100倍の細菌がいると言われておりますので、念入りに汚れを取り除きましょう。

(2) 石灰乳塗布の注意点

近年主流のドロマイト石灰に比べ、生石灰による石灰乳調製は、水を加えた際に発熱しますので調製時の安全対策が必要です。皮膚や粘膜に対して刺激があるので、ゴーグル・マスク・ゴム手袋を必ず着用して下さい。また、攪拌機や塗布器は機種により使用法が異なるので、説明書に従い実施して下さい。塗布機はリシガンなど小型のものもありますので、状況に応じて活用して下さい。

石灰乳塗布の効果は永久に続くわけではありませんので、できれば年間1～2回、牛舎全体の石灰乳塗布を実施するよう心がけましょう。

(3) 石灰乳塗布の効果

石灰乳はほとんどの感染症に効果が高く、ヨーネ病やサルモネラ症では非常に有効です。また、感染症を抑制することはもちろんですが、「牛舎が予想以上に明るくなり、作業がしやすい」など、多くの効果があります(表2)。

表2 石灰乳塗布の主な効果

- ・石灰の働きによる消毒・殺菌
- ・壁などの菌を封じ込め、二次感染を防ぐ
- ・吸湿性が高く、乾燥するため、菌の死滅を早める
- ・光が反射し、牛舎内が非常に明るくなる

